

記入例

提出日を記入願います。

様式第3号（第40条関係）

〇年 〇月 〇日

乙訓消防組合 〇〇 消防署長

申告者 住 所 〇〇市〇〇丁目〇番〇号

職 業 会社員

氏 名 乙訓 太郎

管轄署を記入してください。

(向日・長岡京・大山崎)

車両・船舶・航空機り災申告書

1	り災日時	平成〇年 〇月 〇日 午前 〇時 〇分頃		り災物件 との関係	☒ 所有者 ☐ 管理者 ☐ 占有者
	り災場所	〇〇市〇〇町〇〇			
	記載に際しては（推定・記録・記憶・不明）で記入します。				
2 車 両	運 転 者 氏 名	乙訓 太郎		登録/交付年月日	平成〇年〇月〇日
	用 途	自家用		購 入 金 額	250 万円
	車 台 番 号	ABC123-1234567		車 名	T 製 〇〇〇
	自動車登録番号 又は車両番号	京都 300 あ 12-34		初年度登録年月	平成〇年〇月
	焼損等損害物件		り災種別	時価見積損害額	
	エンジンルーム		焼き・消火・爆発	800,000 円	
			焼き・消火・爆発		
3 船 舶 ・ 航 空 機	船(機)長名		購入年月		
	船(機)名		購入金額		
	年 式		用途・機種		
	船体・機体番号		トン数・最大積載量		
	焼損等損害物件		り災種別	時価見積損害額	
			焼き・消火・爆発	万 円	
			焼き・消火・爆発	円	
4 積 載 物	焼損等損害物件		り災種別	時価見積損害額	
	携帯電話		焼き・消火・爆発	50,000 円	
	かばん		焼き・消火・爆発	40,000 円	
			焼き・消火・爆発	円	
	り災物件 との関係	所有者 管理者・その他（ ） 会社名		氏名 乙訓 太郎	
5 火 災 保 険	契約会社		契約年月	保険金額（万円）	
	〇〇保険会社		平成〇年 〇月	200 万円	
			年 月	万円	
			年 月	万円	
6 今 後 の 連 絡 先	☒ 申告者の住所・氏名と同じ 住所 氏名		電話	075-123-4567	
			本人の電話	090-1234-5678	

(注) り災物件が焼損等損害物件欄に書ききれない場合は、様式第2号の2動産申告書に添付してください。

携帯電話をお持ちの方は
こちらもご記入ください。

車両・船舶・航空機り災申告書記載要領

(1の欄)

- 1 「り災物件との関係」の欄は、申告者との関係について当てはまるものに☑を入れてください。
- 2 「り災場所」の欄は、車両などが火災になった場所を記入してください。
- 3 申告内容について該当するものに、推定・記録・記憶・不明に○を付けてください。

(2の欄)

- 1 「運転者氏名」の欄には、火災当日に当該車両を運転していた者の氏名を記入してください。
- 2 「用途」の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、客車等の別を記入してください。
- 3 「自動車登録番号又は車両番号」の欄は、陸運局又は軽自動車協会に届け出ている車両登録番号等を記入してください。

(3の欄)

「用途・機種」の欄には、旅客機、観測機、訓練機等の区別を記入してください。

(4の欄)

積載物の欄には、損害を受けた物品の品名と時価で見積もった損害額を記入し、また、申告者と積載物の所有者が異なる場合にのみ氏名を記入してください。

(5の欄)

車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。

その他

- 1 「焼損等損害物件」欄は、申告者が焼損状況を確認できる範囲で詳しく記入してください。
- 2 「り災種別」の欄は、以下の内容にあてはまるものを○で囲んでください。
焼 き・・・火災によって焼けたもの及び熱によって変質、変形したもの、又は壊れたもの等と言います。(煙による損害を含む。)
消 火・・・消火するために、濡れたもの、壊れたもの、汚れたものと言います。(搬出又は避難に伴う壊れや汚れを含む。)
爆 発・・・爆発現象の破壊作用により、壊れたものと言います。

注意事項

- 1 この申告書は、消防法第34条第1項に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書の提出がなければ、り災証明書の発行ができない場合があります。
- 3 この申告書は、り災した日から7日以内に提出してください。
- 4 個人以外の届出又は個人の届出で本人以外のものが署名した場合は押印が必要となります。

(その他)

この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

消防署 TEL ー0119